

「BRAIN and NERVE」第 68 巻 総目次

2016 年 (第 1~12 号)

頁数は通巻数, () 内は号数

〔特 集〕

〈シャルコー・マリー・トゥース病〉

- CMT の遺伝子診断の現況 — 多様な原因遺伝子
…………橋口 昭大・樋口雄二郎・高嶋 博・ 7(1)
- CMT の病理…………岡 伸幸・ 21(1)
- CMT と炎症性ニューロパチー…………飯島 正博・ 31(1)
- CMT の治療 — 神経内科の立場から
…………中川 正法・ 43(1)
- CMT の治療 — 整形外科の立場から
…………渡邊 耕太・ 51(1)
- CMT のリハビリテーション…………田島 文博
中村 健・西村 行秀・荒川 英樹
河崎 敬・尾川 貴洋・西山 一成・ 59(1)
- コラム — CMT と「竹馬徴候」
…………河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 70(1)

〈筋疾患の認知機能障害〉

- 筋疾患における中枢神経系障害の重要性
…………松村 剛・ 109(2)
- 福山型先天性筋ジストロフィーの中枢神経障害
…………石垣 景子・ 119(2)
- ジストロフィノパチーとけいれん…………竹下 絵里・ 128(2)
- 筋強直性ジストロフィー 1 型の社会的認知障害
…………小早川睦貴・ 137(2)
- 筋強直性ジストロフィー 1 型の嗅覚障害
…………政岡 ゆり・ 145(2)
- ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作
症候群 (MELAS) の高次脳機能障害
…………市川 博雄・ 151(2)

〈末梢神経の血管炎〉

- 血管炎性末梢神経障害の症候学と診断
…………尾方 克久・ 205(3)
- 血管炎性末梢神経障害の電気生理
…………黒川 勝己・園生 雅弘・ 213(3)
- 血管炎性末梢神経障害の病理…………岡 伸幸・ 223(3)
- Non-systemic Vasculitic Neuropathy…………小池 春樹・ 233(3)
- 血管炎性末梢神経障害の evidence-based treatment
…………古賀 道明・ 243(3)

〈治せる認知症〉

- 神経梅毒と認知症…………加藤 博子・安藤 哲朗・ 309(4)
- 細菌性髄膜炎および脳炎における認知機能障害
…………亀井 聡・ 317(4)
- 中枢神経系にみられる真菌感染症と認知症
…………森田 昭彦・石原 正樹・金野 倫子・ 329(4)
- 自己免疫性脳炎と認知症…………渡邊 修・ 341(4)
- 神経好中球病と認知症…………久永 欣哉・ 353(4)
- 中枢神経系ループスによる神経認知障害
…………西村 勝治・ 365(4)
- 多発性硬化症と認知症
…………新野 正明・宮崎 雄生・ 375(4)
- 脳悪性リンパ腫と認知症
…………水谷 真之・水谷 智彦・ 383(4)
- 傍腫瘍性神経症候群における認知症
…………田中 恵子・ 391(4)
- 内分泌機能異常に伴う認知症
…………松永 晶子・米田 誠・ 399(4)
- ビタミン B₁₂・葉酸欠乏と認知症…………吉澤 利弘・ 407(4)
- 薬物による認知機能障害
…………篠原もえ子・山田 正仁・ 421(4)
- 特発性正常圧水頭症の診断, 治療の現況
…………数井 裕光・ 429(4)
- 血管性認知症は「治せる認知症」か
…………森 悦朗・ 441(4)
- 非痙攣性てんかん重積状態…………溝渕 雅広・ 451(4)
- アルツハイマー病根本治療薬の開発 — 治せる認知症を目
指して…………秋山 治彦・ 463(4)
- 〈手の症候学 — 生理学・解剖学からみた新知見〉
- Split Hand — 筋萎縮性側索硬化症で認める解離性小手指
萎縮…………澁谷 和幹・ 501(5)
- 頸椎症性筋萎縮症…………園生 雅弘・ 509(5)
- 胸郭出口症候群 — true neurogenic TOS の神経症候
…………東原 真奈・此枝 史恵・園生 雅弘・ 521(5)
- 平山病からみた頸膨大前角における体性機能局在
…………平山 恵造・ 531(5)

〈脳とフローラ〉

腸内細菌とストレス応答・行動特性

……………須藤 信行・595(6)

過敏性腸症候群・情動の制御と腸内細菌

……………福土 審・607(6)

多発性硬化症と腸内フローラ……………山村 隆・617(6)

自閉症と腸内フローラ由来分子……………渡邊 邦友・623(6)

ADHD モデルラットの情動形成における腸脳連関

……………飛田 秀樹・633(6)

うつ病と腸脳連関……………功刀 浩・641(6)

〈認知症の危険因子と防御因子〉

【鼎談】リスク征圧で認知症は防げるか？ — 非薬物的な
認知症治療の展望

……………秋下 雅弘・秋山 治彦・三村 將・693(7)

アポリポ蛋白 E 遺伝子 (APOE) ……徳武 孝允

春日 健作・原 範和・池内 健・703(7)

認知症における加齢と性差

……………亀山 祐美・秋下 雅弘・713(7)

糖尿病と認知症の疫学……………小原 知之・719(7)

循環器疾患と認知症

……………佐々木雄一・池田 義之・大石 充・729(7)

脂質異常症と認知症……………玉岡 晃・737(7)

脳卒中後認知症……………猪原 匡史・743(7)

うつ病・双極性障害と認知症……………馬場 元・753(7)

アパシーと認知症……………岡田 和悟・山口 修平・767(7)

認知症の早期徴候とリスク要因としての睡眠問題

……………三島 和夫・779(7)

性格と認知症……………増井 幸恵・793(7)

運動・身体活動による認知症予防

……………島田 裕之・牧迫飛雄馬・土井 剛彦・799(7)

アルツハイマー病予防と摂取栄養素

……………大塚美恵子・809(7)

アルコールと認知症リスク

……………松下 幸生・樋口 進・819(7)

知的活動は認知症の発症に関与するのか

……………松田 修・829(7)

認知症の危険因子と環境要因

……………田代 善崇・木下 彩栄・837(7)

頭部外傷の遅発性後遺症 — 慢性外傷性脳症 (CTE) と頭
部外傷に続発するアルツハイマー病を中心に

……………高畑 圭輔・田淵 肇・三村 將・849(7)

〈こころと汗〉

精神性発汗の神経機構……………朝比奈正人・883(8)

情動障害と発汗異常……………梅田 聡・893(8)

発汗の脳機能画像……………小島 一步・平野 成樹・903(8)

意思決定と汗……………小早川陸貴・911(8)

バイオフィードバック療法における精神性発汗の応用

……………永井 洋子・919(8)

〈自己免疫性脳炎・脳症〉

【鼎談】脳と抗体 — 自己免疫性脳炎のこれまでとこれか
ら……………犬塚 貴・栗山 勝・神田 隆・989(9)

抗 NMDA 受容体抗体関連脳炎

……………長山 成美・田中 恵子・1001(9)

VGKC 複合体抗体関連脳症とその周辺疾患

……………渡邊 修・1011(9)

橋本脳症の診断と治療

……………牧 美充・高嶋 博・1025(9)

SLE 脳症……………田中 良哉・1035(9)

悪性腫瘍に伴う自己免疫性脳炎……………犬塚 貴・1049(9)

〈アディクション — 行動の嗜癖〉

【鼎談】嗜癖疾患の新しい視点

……………竹村 道夫・森山 成彬・三村 將・1133(10)

アディクションの神経基盤 — 2つのドーパミン神経系と
強化との関係……………松本 正幸・1139(10)

危険ドラッグの薬物依存性と毒性 — 基礎研究から探るそ
のメカニズム……………船田 正彦・1149(10)

インターネット依存の概念と治療

……………ムハンマド エルサルヒ

村松 太郎・樋口 進・三村 將・1159(10)

ギャンブル障害の倫理的・法的・社会的問題と治療

……………森山 成・1167(10)

窃盗症の概念と治療……………竹村 道夫・1177(10)

性依存症からの回復……………吉岡 隆・1187(10)

〈連合野ハンドブック〉

前頭連合野の神経解剖学……………高田 昌彦・1253(11)

前頭連合野の認知機能 — 推移的推論と前頭前野外側部

……………田中 慎吾・小口 峰樹・坂上 雅道・1263(11)

前頭連合野の運動機能 — 高次運動野の認知的行動制御

……………虫明 元・嶋 啓節・1271(11)

前頭連合野の言語機能 — 言語を生み出す脳メカニズム

……………山本香弥子・酒井 邦嘉・1283(11)

前頭連合野の情動・動機づけ機能……………渡邊 正孝・1291(11)

頭頂連合野の神経解剖学……………小林 靖・1301(11)

頭頂連合野と身体情報

……………内藤 栄一・雨宮 薫・守田 知代・1313(11)

頭頂連合野と空間情報

……………稲場 直子・竹村 文・河野 憲二・1321(11)

頭頂連合野と動き情報……………宇賀 貴紀・1335(11)

側頭連合野の神経解剖学……………一戸 紀孝・1345(11)

側頭連合野の視覚情報処理 — 形、顔、色、質感、奥行き

の処理……………稲垣未来男・藤田 一郎・1363(11)	
側頭連合野の聴覚情報処理	
……………福島 誠・小島 久幸・1371(11)	
〈炎症性神経・筋疾患の新たな展開〉	
フィッシャー症候群の病態 — 運動失調をめぐる論争と現	
状……………桑原 聡・1411(12)	
慢性炎症性ニューロパチーの自己抗体	
……………山崎 亮・1415(12)	
ギラン・バレー症候群の新しい治療	
……………桑原 基・楠 進・1423(12)	
特発性炎症性筋疾患の診断 — 筋病理から何が読み取れる	
か……………井上 道雄・西野 一三・1431(12)	
炎症性筋疾患の自己抗体 update……………鈴木 重明・1443(12)	
〔総 説〕	
SWEDDs — Scans without Evidence of Dopamine Deficit	
……………向井 洋平・村田 美穂・73(1)	
軸索再生関連分子の多発性硬化症診断マーカーへの応用	
……………高橋 慶太・田中 章景・竹居光太郎・82(1)	
てんかん症候群の原因遺伝子……………加藤 光広・159(2)	
レヴィ小体型認知症の臨床神経心理学	
……………長濱 康弘・165(2)	
マンガン中毒を早期発見しよう — 職業歴と MRI T ₁ 強調	
画像によって……………福武 敏夫	
矢野 祖・櫛田隆太郎・砂田 芳秀・175(2)	
神経膠腫病理診断のベストエビデンス	
……………増井 憲太・小森 隆司・253(3)	
Isolated body lateropulsion の神経解剖学	
……………中里 良彦・田村 直俊	
池田 桂・田中 愛・山元 敏正・263(3)	
眼球運動からみた小脳機能 — 小脳病変局在診断の手助け	
として……………廣瀬源二郎・271(3)	
記憶を正しく思い出すための脳のしくみ	
……………竹田 真己・473(4)	
那須・ハコラ病の脳分子病態……………佐藤 準一・543(5)	
アルツハイマー病の言語症状……………品川俊一郎・551(5)	
作話 — 時間認知の障害という観点から	
……………黒田 岳志・本間 元康・二村 明德	
四郎丸(杉本)あずさ・河村 満・559(5)	
小児神経学と成人神経学に架かる橋	
……………平山 恵造・647(6)	
大脳基底核回路の形態学的知見……………藤山 文乃・861(7)	
大脳新皮質の層形成過程におけるリーリンの役割	
……………仲嶋 一範・931(8)	
認知症の社会的コスト — インフォーマルケアコストを中	
心に……………色本 涼・佐渡 充洋・三村 将・939(8)	

CLIPPERS — chronic lymphocytic inflammation with pontine	
perivascular enhancement responsive to steroids	
……………菅 信一・1069(9)	
家族性 ALS の原因遺伝子 update	
……………丸山 博文・森野 豊之・川上 秀史・1081(9)	
異常蛋白質のプリオン様伝播 — 現状とこれからの課題	
……………樽谷 愛理・久永 真市・長谷川成人・1197(10)	
なぜ夢をみるのか — マウスのレム睡眠操作からみえたこ	
と……………柏木 光昭・林 悠・1205(10)	
アルツハイマー型認知症診断における florbetapir (¹⁸ F) を用	
いたアミロイドイメージングの臨床的意義と適正使用	
……………中村 智実	
岩田 淳・植田 要・並木 千尋・1215(10)	
脳を理解するとはどういうことか — ある計算論的神経科	
学者の頭の中……………田中 宏和・1379(11)	
時間を計る脳のしくみ — 時間長の集団コーディング	
……………林 正道・1385(11)	
孤発性脊髄小脳変性症の分類を再考する	
……………古賀 俊輔・1453(12)	
高次脳機能障害に対する反復経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 治療	
……………井上 雄吉・1459(12)	
〔原 著〕	
急性期穿通枝梗塞へのアルガトロバン、アスピリン、クロ	
ピドグレル併用による短期強化療法の試み	
……………仁紫 了爾・眞野 智生	
小林 洋介・松尾 幸治・小林 靖・181(2)	
炎症反応を伴った進行性多巣性白質脳症 — 免疫不全の原	
因の多様性と病理所見	
……………宍戸(原)由紀子・内原 俊記・三條 伸夫・479(4)	
パーキンソン病治療薬ロチゴチン貼付剤の継続使用に関す	
る検討……………安高 勇気	
藤岡 伸助・芝口 浩智・今給黎 修	
鷲山 厚司・坪井 義夫・二神幸次郎・655(6)	
大規模患者調査で明らかになったパーキンソン病の薬物治	
療の実態 — 2008 年と 2013 年の大規模患者調査結果の	
比較……………藤本 健一	
村田 美穂・服部 信孝・近藤 智善・1087(9)	
NMDA 型 GluR サブユニット抗体陽性脳炎 5 症例の臨床	
的解析……………金子知香子	
ノーシャリナ シェークスピア	
土屋真理夫・久保 仁	
山本 悌司・片山 宗一・高橋 幸利・1099(9)	
脳神経外科領域で経験する難治性の症候性部分てんかん症	
例に対するレベチラセタム併用療法の有効性と安全性の	
検討……………鈴木 景子・川瀧 智之	

佐藤 浩企・荻原 雅和・木内 博之・1471(12)

〔症例報告〕

両側性アディー瞳孔のみを呈した抗 GQ1b 抗体症候群の 1 症例……………梶川 駿介

大井 長和・藤田 篤史・楠 進・ 93(1)

馬尾症候群を初発とした血管内大細胞型 B 細胞性リンパ腫の 1 例

……………和田 晋一・松尾 龍・松下 知永

福嶋 由尚・吾郷 哲朗・北園 孝成・ 97(1)

髄膜炎状態で発症後に視神経炎を呈し、抗グルタミン酸受容体抗体が検出された急性辺縁系脳炎の 1 例

……………村上 綾・中村 正孝

金子 鋭・高橋 幸利・日下 博文・ 283(3)

シェーグレン症候群に合併した急性辺縁系脳炎の 1 例

……………新村 浩透・長坂 高村・土屋 舞

小野原亜希子・高木 隆助・瀧山 嘉久・ 567(5)

リバーロキサパン療法中に脳出血を発症し、その後アピキサパン療法中に同部位に脳出血を再発した 1 例

……………横井 美央・外山祐一郎・鶴崎雄一郎

中村 麻子・三間 洋平・桑城 貴弘

湧川 佳幸・矢坂 正弘・岡田 靖・ 573(5)

隆鼻術に用いられた象牙インプラントによる稀有な穿通性頭部外傷の 1 例と文献的考察

……………宮原 牧子・岡本幸一郎

玉井 雄大・相島 薫・井上 雅人

大野 博康・原 徹男・松林 薫美・ 661(6)

中大脳動脈狭窄による limb-shaking を伴う一過性脳虚血発作に対して経皮的血管形成術が奏効した 1 例

……………宇野 淳二・峯田 春之・連 乃駿

高岸 創・長岡慎太郎・亀田 勝治

前田 一史・伊飼 美明・魏 秀復・ 865(7)

認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症の臨床像を呈した globular glial tauopathy の 1 剖検例

……………佐々木良元・三室 マヤ・小久保康昌

今井 裕・吉田 真理・冨本 秀和・ 945(8)

微小血管減圧術が奏効した結膜充血と流涙を伴う難治性の短時間持続性片側神経痛様頭痛発作 (SUNCT) の 1 例

……………菊井 祥二・宮原 淳一

杉山 華子・柏谷 嘉宏・竹島多賀夫・ 951(8)

他の神経症状に乏しく重度嚥下障害を呈した延髄内側梗塞……………玉木 慶子・津川 潤

村上 健・梅本 丈二・坪井 義夫・1223(10)

POLR3A 遺伝子変異を認めた Pol III 関連白質ジストロフィーの 1 例……………島 智秋

藤本 武士・宮崎禎一郎・野中 文陽・1393(11)

特発性正常圧水頭症に類似した症状・画像所見で初発した神経サルコイドーシスの 1 例

……………杉山淳比古・小林 誠・我妻久美子

慕 健・塩尻 俊明・持田 英俊

鈴木 良夫・松永 高志・桑原 聡・1477(12)

〔神経画像アトラス〕

PET-CT にて ¹⁸F-FDG の集積を認めた頸椎症性脊髄症の 1 例……………若杉 尚宏・金澤 雅人・矢島 隆二

勝見 敬一・遠藤 直人・西澤 正豊・ 191(2)

シャルコー動脈が出血源と同定できた特発性被殻出血の 1 例……………坂倉 和樹・池田 剛

椎貝 真成・中居 康展・渡辺 憲幸

上村 和也・山本 哲哉・松村 明・ 957(8)

〔Neurological CPC〕

両側声帯外転障害を呈しレヴィ小体型認知症と臨床診断された 89 歳男性例

……………融 衆太・内原 俊記・磯崎 英治

織茂 智之・河村 満・井口 保之

後藤 淳・鈴木 正彦・田久保秀樹

福田 隆浩・藤ヶ崎純子・星野 晴彦・ 667(6)

変形視で発症し、経鼻経管栄養のみで 4 年 9 カ月の長期生存を得た孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病の 66 歳女性例……………山崎 幹大・福田 隆浩

小林 篤史・田久保秀樹・河村 満

井口 保之・織茂 智之・後藤 淳

鈴木 正彦・福田 隆浩・藤ヶ崎純子・1229(10)

〔ポートレート〕

アルフォンス・マリア・ヤコブ……………高尾 昌樹・ 289(3)

アレクサンドル・ロマノヴィチ・ルリヤ — 心理活動の脳機構の探求とその障害の診断, 治療の実践

……………鹿島 晴雄・ 579(5)

コンラート・ローレンツ — 動物行動学の創設者

……………渡辺 茂・1109(9)

亀山正邦 — 老年神経学の開拓者…宇高不可思・1483(12)

〔学会印象記〕

ECTRIMS 2015 — 31st Congress of the European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (2015 年 10 月 7~10 日, バルセロナ)……………田中 正美・ 90(1)

SNL 2015 — The 7th Annual Meeting of the Society for the Neurobiology of Language (2015 年 10 月 15~17 日, シカゴ)……………太田 真理・ 194(2)

WCN 2015 The XXII World Congress of Neurology (2015 年 10 月 31 日~11 月 5 日, サンチアゴ)

……………松本 理器・高橋 良輔・水澤 英洋・ 294(3)

Neuroscience 2015 (2015 年 10 月 17~21 日, シカゴ)

.....井上 謙一・ 540(5)	
AANEM 2015 — 62th American Association of Neuromuscular & Electrodiagnostic Medicine (2015 年 10 月 28～31 日, ホノルル).....神林 隆道・ 679(6)	
2016 AAN Annual Meeting — The 68th American Academy of Neurology® Annual Meeting (2016 年 4 月 15～21 日, バンクーバー).....宮崎 雄生・ 976(8)	
ESC 2016 — 25th European Stroke Conference (2016 年 4 月 13～15 日, ヴェニス, イタリア).....河野 優・ 1114(9)	
MDS 2016 — 20th International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders (2016 年 6 月 19～23 日, ベルリン).....村上 秀友・ 1239(10)	
INC 2016/GBS 100 — Inflammatory Neuropathy Consortium 2016/GBS Centenary Meeting (2016 年 6 月 21～24 日, グラスゴー).....楠 進・ 1399(11)	
OHBM 2016 — Organization for Human Brain Mapping 2016 Annual Meeting (2016 年 6 月 26～30 日, ジュネーブ).....是木 明宏・ 1488(12)	

【特別寄稿】

モルヴァン症候群の原著全訳.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 1056(9)	
--	--

【紙上討論】

「漢字」と「ひらがな」の知覚部位は同じか？.....櫻井 靖久・辰巳 格・渡辺 眞澄・ 959(8)	
--	--

【今月の表紙】

今月の表紙.....河村 満・ 3(1)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 196(2)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 298(3)	

今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 490(4)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 586(5)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 682(6)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 870(7)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 978(8)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 1118(9)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 1242(10)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 1402(11)	
今月の表紙.....河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 1490(12)	

【読者からの手紙】

利き手とマッチ.....山下 光・ 281(3)	
低血糖脳症の画像所見における脳形態変化の重要性.....益澤 秀明・ 859(7)	

【訂正とお詫び】

訂正とお詫び..... 4(1)	
訂正とお詫び..... 282(3)	
訂正とお詫び..... 542(5)	
訂正とお詫び..... 874(7)	
訂正とお詫び..... 929(8)	
訂正とお詫び..... 958(8)	
訂正とお詫び..... 1080(9)	